授業科目　介護実習 IB

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	社会（介護福祉コース必修）
渡邉　敏文　他	開講時期	後期	必修選択	選択
	単位数	2	時間数	90

【カリキュラムポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	○	○	○	◎

【概要・一般目標：GIO】

・ 介護総合演習 II 等で身に付けた技術を元に、高齢者の要介護状態に応じて求められる介護技術の適正な用い方や、医療・看護との連携の方法について学ぶ。

・ ２～３月の２週間程度の期間で、前半は老人介護支援センターや老人居宅介護事務所などで実習を行い、後半は認知症対応型老人共同生活援助事業等を中心とした実習を行う。

【学習目標・行動目標：SBO】

１）高齢者の要介護状態に応じた介護技術の適正な用い方について理解する。

２）利用者の生活形態、家族との関係、自立支援について理解する。

３）医療・看護との関連で、独自の判断で行ってはならない仕事と、連携の方法について理解する。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	・実習は、２～３月に２週間程度で行う。		
2	・地域密着型の小規模多機能型居宅介護や認知症対応型老人共同生活介護等で実習を行い、高齢者の要介護状態に応じた介護技術の適正な用い方について学ぶ。		
3	・ 可能であれば、居宅サービスを調整するための保険医療福祉関係者の会議に参加する。		

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 （必ず購入する書籍）				
参考書				
その他の資料	実習の手引き等			

【評価方法】	【履修上の留意点】
実習先での評価、実習ノート、レポート、実習報告等を総合的に評価する。	